

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	1CN-2206
研究課題名	アジア途上国・準地域における気候中立かつレジリエントな社会実現に向けた緩和・適応の移行戦略の工程表作成および実装化支援に関する研究
研究実施期間	2022 年度～2024 年度
研究代表機関名	(公財)地球環境戦略研究機関
研究代表者名	有野 洋輔

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

アジアでの気候中立かつレジリエントな社会実現に向けた緩和・適応の移行戦略について、各国との議論の中で一定の方向性をガイダンスの作成という形でアウトカムを生み出したことは評価できる。ただ、実際の活動への移行の道筋がはっきり見えず、それぞれぞれの国に必要な部分、やりたいと考えている部分などの具体的な情報収集が必要ではないか。ASEAN は自国で戦略や政策を検討し、構築する段階にあり、さらには ASEAN での政策調和も行い始めている。ASEAN の研究者や政策決定者と一緒に作業をするなどのような形に改良されていくことを期待する。また、緩和と適応のコベネフィットやシナジーに注目しているが、緩和と適応でそれぞれの効果を打ち消し合う部分があると思われる。この点についても考慮すべきではないか。今後も、地域に密着した活動として進められることを期待する。